



指定避難所兼指定緊急避難場所一覧

No	施設・場所名	住所	指定緊急避難場所	指定避難場所	備考	No	施設・場所名	住所	指定緊急避難場所	指定避難場所	備考
1	白河第一小学校体育館	高瀬沢41-1	●	●	土砂は降る	33	三番町会館	三番町23-10	●	●	
2	白河第二小学校体育館	日影2-8	●	●		34	大町会館	三番町53	●	●	
3	白河第三小学校体育館	寺小路64-2	●	●		35	真舟集会所	真舟2-6	●	●	
4	みかさ小学校体育館	みかさ2-120	●	●		36	北真舟集会所	北真舟14	●	●	
5	白河中央中学校体育館	明戸72-5	●	●		37	昭和町集会所	昭和町119-2	●	●	
6	白河第二中学校体育館	和尚塚2-1	●	●		38	遠堀町集会所	遠堀町10-3	●	●	
7	わかば保育園	北中川原2-1	●	●	洪水は降る	39	天神町集会所	天神町41-1	●	●	
8	みのり保育園	新白河2-162	●	●		40	金澤町自治会館	金澤町37-5	●	●	
9	さくら保育園	会津町24-7	●	●		41	愛宕町集会所	愛宕町20-2	●	●	
10	白河高等学校体育館	南登り町54	●	●		42	中町町内会館	大手町31-11	●	●	
11	白河旭高等学校体育館	旭町一丁目3	●	●		43	大工町集会所	袋町9	●	●	
13	中央体育館	北中川原30	●	●	洪水は降る	44	新蔵町集会所	新蔵町15-1	●	●	
14	第一市民体育館	遠堀70-1	●	●		45	南町会館	南町17	●	●	
15	第二市民体育館	立石山3	●	●		46	本町集会所	本町67-4	●	●	
16	第三市民体育館	明戸102-1	●	●		47	丸の内会館	郭内1-169	●	●	
17	中央公民館	天神町2	●	●	土砂は降る	48	会津町集会所	会津町36-34	●	●	洪水は降る
18	図書館	遠堀小路96-5	●	●		56	馬町・栄町自治会館	蛇石77-1	●	●	土砂は降る
19	白河文化交流館コミネ	会津町1-17	●	●		57	横町集会所	明戸102-8	●	●	
20	武道館	向新蔵129-2	●	●		58	田町集会所	士多町11-1	●	●	洪水は降る
21	産業プラザ人材育成センター	中田140	●	●		61	年賀町集会所	年賀町55-1	●	●	
22	中央保険センター	北中川原313	●	●	洪水は降る	62	寺小路集会所	関川窪67-1	●	●	
23	中央老人福祉センター	北中川原313	●	●	洪水は降る	63	関川窪第二集会所	関川窪88	●	●	
24	中央デイサービスセンター	北中川原313	●	●	洪水は降る	64	飯沼町自治会館	飯沼一丁目40-2	●	●	
25	第一区集会所	北谷町12-3	●	●		65	飯沼町集会所	飯沼33-1	●	●	
26	高山コミュニティセンター	新白河2-212	●	●		66	池町集会所	池町一丁目164	●	●	
27	緑ヶ丘集会所	古高山1-243	●	●		67	中田集会所	新中川原68-3	●	●	洪水は降る
30	石切場集会所	石切場54-2	●	●		98	源目集会所	大畑101	●	●	
31	九番町自治会館	九番町西裏1-12	●	●		227	オープンハウス白河	金鈴17-1	●	●	★
32	七番町集会所	七番町4-6	●	●							

想定条件
1時間で120mmの降雨
(想定最大規模降雨)

■この図は、白河市において想定される最大規模の降雨(時間当たり120.0mm、10分あたり40.0mm、総雨量132.4mm)が降った場合の浸水箇所及び最大浸水深をシミュレーションにより求めたものです。
■阿武隈川、堀川、谷津田川を始めとする河川堤防の決壊または溢水による洪水は考慮していません。そのため、黄色色でない区域においても、雨の降り方によって浸水する可能性があります。表示の浸水深よりも深くなる場合がありますので注意してください。
■土砂災害に関する情報は、別途、総合防災マップを参照してください。

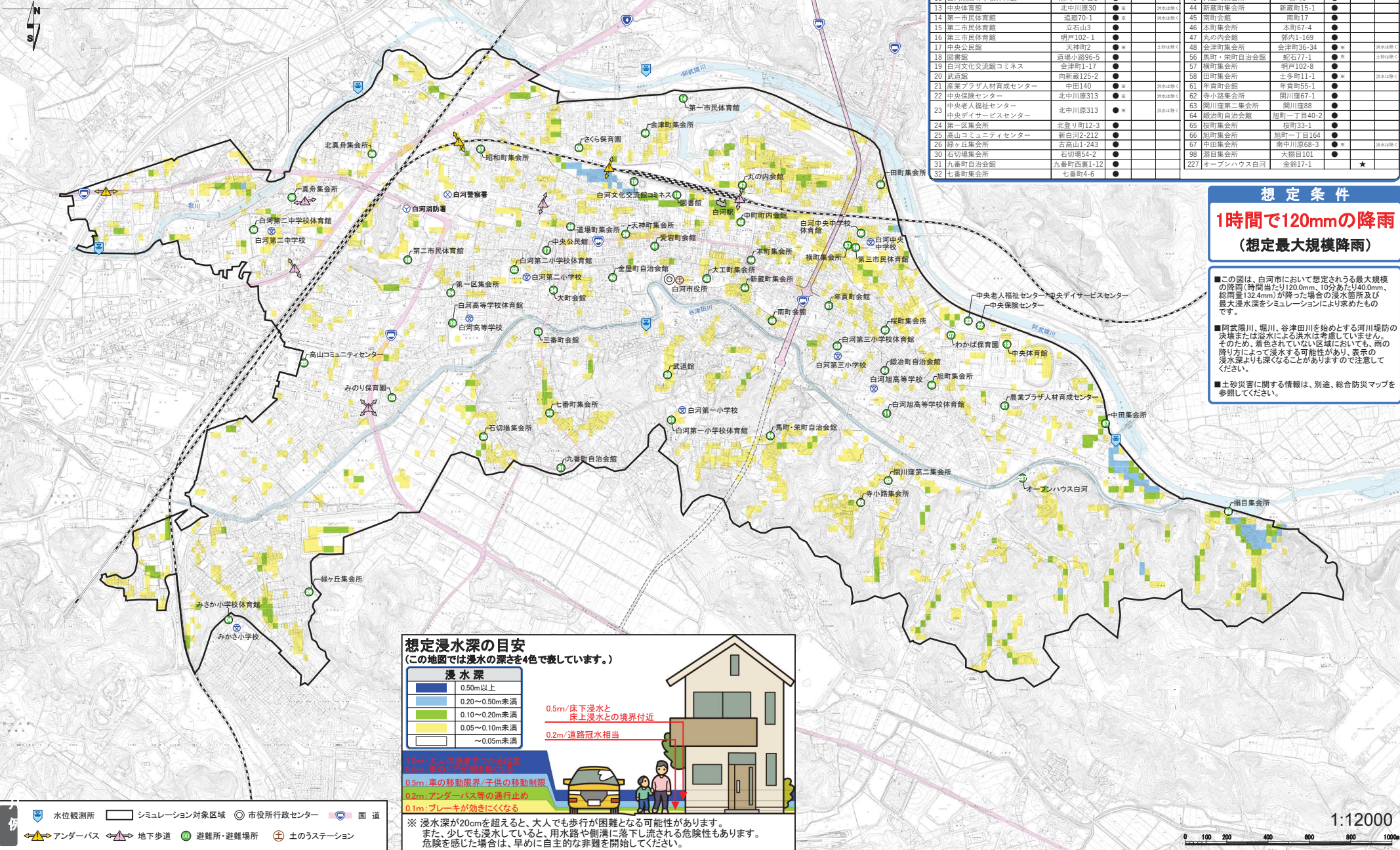
想定浸水深の目安
(この地図では浸水の深さを4色で表しています。)

0.50m以上
0.20~0.50m未満
0.10~0.20m未満
0.05~0.10m未満
~0.05m未満

0.5m/床下浸水と床下浸水との境界付近
0.2m/道路冠水相当

0.5m: 車の移動限界/子供の移動制限
0.2m: アンダーパス等の通行止め
0.1m: プレートを効きにくくなる

※ 浸水深が20cmを超えると、大人でも歩行が困難となる可能性があります。また、少しでも浸水していると、用水路や側溝に落下し流される危険性もあります。危険を感じた場合は、早めに自主的な非難を開始してください。



内水ハザードマップとは

局所的で短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって、道路側溝や水路で排水しきれなくなった雨水があふれ、浸水が発生した場合を想定したものです。浸水する区域や深さをご確認いただき、浸水被害軽減のためにお役立てください。

外水氾濫によって予想される浸水被害については、別途、「白河市総合防災マップ」をご確認ください。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた雨水に対して、川への排水が間に合わず、排水路などからあふれ出すことで発生する浸水です。
川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要です。



外水氾濫

大雨で河川水位が上昇し、堤防を越える、あるいは堤防が決壊させて河川の水が外にあふれ出すことで発生する浸水です。
氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要です。



雨の強さと降り方

	猛烈な雨 1時間に80mm～ 息苦しくなるような圧迫感のある雨。雨による大規模災害が発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要となる。
	非常に激しい雨 1時間に50～80mm 流のように降る雨。河川の氾濫をはじめ、土石流などが起きやすく、多くの災害が発生する恐れがある。車の運転も危険。
	激しい雨 1時間に30～50mm パケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れ、がけ崩れが起きやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要となる。
	強い雨 1時間に20～30mm どしゃぶりの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨で、側溝や下水、小さな川があふれ小規模のがけ崩れなどの心配がある。
	やや強い雨 1時間に10～20mm ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、地面からの跳ね返りで足元が濡れ、話し声が聞こえにくくなる。

5段階の警戒レベル

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報が、5段階※1に整理されました。

それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。市からの**避難勧告等の発令に留意**するとともに、避難勧告等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要**です。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※2 (市が発令)
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難 しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告※3 避難指示(緊急) (市が発令)
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

<防災気象情報> ※4

警戒レベル相当情報
警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水情報 等

(国土交通省、気象庁、福島県が発表)

※4 これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令。
 ※3 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令。

避難について

避難とは・・・

避難は、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

屋外が安全で移動できる状態のとき

- ①指定緊急避難場、所指定避難所への移動
- ②警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難（公園、親戚や友人の家など）
- ③近隣の強固で高い建物などへの移動

屋外が危険な状態のとき

- ④建物内の安全な場所での待避（家屋内への垂直避難）
やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高い所へ、土砂災害対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

避難行動に関する行政発令の種類と、住民の皆様への対応

避難勧告などは、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難勧告」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「**自主避難**」をお願いします。

情報の入手方法について

防災行政無線
市内に設置した屋外スピーカー・防災ラジオから、警戒情報や災害情報、避難に関する情報などをお知らせします。

緊急速報メール
携帯電話の「エリアメール」、「緊急速報メール」の機能を使って、避難情報や避難所開設情報を白河市内の携帯電話に自動的にお知らせします。操作・設定方法については、携帯電話会社のホームページを参照してください。

テレビ
地上デジタルテレビリモコンの「データ放送（dボタン）」を押すと、災害時の避難情報や避難所開設状況などが確認できるほか、台風が接近する場合には、防災に役立つ気象情報が掲載されます。

インターネット・SNS
各機関のホームページから、市の防災の取組みや災害情報、防災情報などについて、情報提供を行います。

■白河市ホームページ <http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>

■白河市フェイスブック

■福島県河川流域総合情報システム <http://kaseninf.pref.fukushima.jp/>

■福島地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/fukushima/>

自助の取り組みについて

日常からの備え

雨水ます等の点検、清掃
家の近くの雨水ます等の点検・清掃にご協力をお願いします。雨水ます等に泥や落ち葉、ゴミが詰まると、浸水の原因になります。皆さんのご協力をお願いします。

道路の側溝や雨水ますの確認を 物を置かないでください
側溝や雨水ますの集水口に落ち葉などが詰まっていないうかが確認しましょう。詰まっていたら取り除きましょう。

非常時持ち出品（例）

携帯ラジオ	貴重品 BANK ¥1,000	救急医療品	非常食品等
懐中電灯	その他 衣類（下着・上着等） 生理用品 缶切り ウェットティッシュ ヘルメット ラップフィルム （止血や食器にかぶせて使う） 防災マップ（本書）		
	タオル 紙おむつ 栓抜き 紙コップ	その他 カップ ライター 水筒 紙皿	

ご家庭でできる浸水対策

ご家庭にある物を使って浸水を防ぐ方法の一例です。ごく浅い浸水（10cm程度）であれば被害を軽減することが出来ます。

ごみ袋による簡易水のう
45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、半分程度の水を入れることで、簡易水のうを作ることが出来ます。段ボールなどに入れて持ち運びに便利です。そのまま並べて利用もできます。

ポリタンク又はプランターとレジャーシート
水を入れたポリタンクを並べ、レジャーシートで包み、浸水を防ぎます。
土などを入れたプランターを並べ、レジャーシートで包み、浸水を防ぎます。

発行：白河市水道部下水道課
問い合わせ 0248-22-0910 作成 令和4年11月